

# 大和郡山 防災ニュース 29. 3月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

## 市内自主防災組織巡り

## 筒井南市場自主防災会を訪問しました！

地域の役員様で、防災をどう扱ったらいいんだらう？とか、自主防災組織はどんなことをすればいいの？というお悩みを抱えていらっしゃる方は多いと存じます。そこで当ニュースでは「市内自主防災組織巡り」と銘打ち、市内の自主防災組織のお話を聞いて、その内容を伝えてまいります。

その第1弾は、筒井の「南市場自主防災会」。今年の消防出初式における「防災結束セレモニー」で会長の山下さんが自主防災組織を代表して、上田市長と藪田消防団長との三者で固い握手を交わしたことは記憶に新しいところですが、この防災会、どのような活動をされているのでしょうか？

### ～設立は平成17年～

筒井の南市場地区は、近鉄と国道25号線の立体交差点を中心に、鉄道と道路を挟んで、北西へ約450mの細長い地域と、筒井駅前も含む南東へ約300m余を占める位置に広がっており、世帯数は約380となっています。

この南市場地区に、自主防災会が誕生したのは平成17年。先代会長の堀本さん（故人）が現会長の山下さんと協力して立ち上げました。

地域の防災拠点として、近鉄線東側で国道25号線の南側の須浜池畔のヒラカワ駐車場の一角を借地して、防災倉庫を2棟所有しており、1つめの倉庫には、ポンプ、チェーンソー、発電機、ジャッキその他工具類を備えており、2つめの倉庫には要支援者避難用リアカー、簡易トイレ、コンロ、ヒーター、ライト、携帯マイク、ゴミ袋、トイレットペーパー、介護用消耗品等が保管されています。

### ～地震への準備をしたからこそ言える「起きなくて良かった！」

「奈良に大地震は起きない、だから都になったんだ。」って人、今でも多いですよね。南市場でもそんな人が多かったのでは？との問いに、会長は、「もちろん、いましたよ。そういう方には科学的歴史的な事実で説明します。

地震は断層が動いて起こることは誰も知っています。だから、奈良県内で存在の知られている8つの断層とそこに地震が起きた場合の規模と郡山での震度予測を載せた地図をつくって説明しました。」「また、郡山でも液状化現象が起きうる理由を太古、郡山中中部が奈良湖ともいうべき湖の底だったからだということを説明しています。」「もちろん、地震は明日起きるものか、そ

れとも50年先なのかはわかりません。でも必ず起きるものなんだ、だから、もし自分の存命中にそれが起きなかったとしても、**地震への準備をしたからこそ『起きなくて良かったね』**といえる体制づくりをしていきたいですね。」

### ～地域の実情を掴む、地域の施設、企業と連携する

南市場自主防災会では、まず地域を4つのブロックに分けて、各ブロック毎に声や情報を集め、どのようなことで困られる方がいらっしゃるのか、を把握していきました。今は個人情報保護社会ですので、例えば、家族の人数の把握でも、各戸に個人防災袋を配布する機会を捉えて「いくつ要る？」という感じで住民数を把握していきました。また防災会では、全戸に長さ約1mの緑色のたすきを配布しています。災害時、全員避難が済んだお家は必ず玄関にこのたすきを掛けて、安否確認を容易にするためのものです。

また、地域の福祉施設にも助け合いの手をさしのべたり、駅前ホテルとも災害時の宿泊協定を結んだり、いざという時の体制づくりを整えています。

### ～究極の目的は防災だけじゃない、まちの活性化、繁栄～

筒井駅周辺にも空き家化というか、人口減少の波が押し寄せていると会長は言います。防災会設立時に、山下会長は先代の会長と語り合われたというのが「このまちを安心して住めるようなまちにすることで、人を集めていこう。」ということでした。

しかし、住民の勉強会では、先に述べたような断層、液状化、被害想定という文言が並びます。「そんな情報を出していったら逆に家が売れなくなって人口が減る。」という声もあったそうです。しかし、事実を理解した上で対策を考えるのであれば、本当の安全・安心は築けない、人と人の輪で安全なまちになれば、きっと人は集まってくる、という信念の基、活動を進めてきました。

現に子育て世代の若い家族も、ここなら子供にも地域の目が届いて安心と、引っ越して来られたと聞いています。

防災から始まる地域づくり、一步一步時間のかかる作業ですが、安全・安心から活力生み出す、こんなまちづくりを、あなたのまちでも始めてみませんか？

**大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます**

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

**消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ!』をご覧ください!**

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

**発行人 市役所市民安全課**